



JQA-2631(本社工場)  
JQA-EM3548(本社工場)



溶剤系2液型ポリウレタン樹脂 さび止め塗料

# ウレタイトプライマー

URETIGHT PRIMER

非鉄金属用プライマーとして付着性を重視した下塗り材です。亜鉛は鉄に比べて付着性が悪く、熱膨張も大きいことから柔軟性のある塗膜であることが必要条件です。ウレタイトプライマーは柔軟性と付着性に優れた設計となっておりますので、はがれ等のトラブルが避けられます。

## 用途

1. 電力施設・プラント類などの非鉄金属構造物
2. カラートタン・トタンなどの屋根材
3. 亜鉛引きされた構造物・ダクト・パイプ類
4. アルミ素材の塗り替え

## 特長

1. 優れた付着性
2. 素地に追従する柔軟性
3. ハケ・ローラー・エアレスのいずれも塗装可能

## 塗膜性能

試験項目	評価方法・品質基準	試験結果
付着性	JIS K 5600 (クロスカット法 1mm幅)	分類0
耐屈曲性	JIS K 5600 (円筒形マンドレル法)	6mm合格
耐おもり落下性	JIS K 5600 (デュポン式 500g×50cm×1/2φ)	異常なし
耐液体性	JIS K 5600 (水道水 浸せき法) 23℃×3ヶ月間	異常なし
	JIS K 5600 (5%水酸化ナトリウム水溶液 浸せき法) 23℃×7日間	異常なし
	JIS K 5600 (5%硫酸水溶液 浸せき法) 23℃×7日間	異常なし
耐中性塩水噴霧性	JIS K 5600 ソルトスプレー試験機 500h	異常なし

試験塗板：冷間圧延鋼板（鉄板） 乾燥条件：23℃×7日間放置 塗装膜厚：35～45μm

## 塗装仕様 上塗りがトタンライトデラックスの場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	新設の場合はシンナーにより脱脂を充分に行い、ゴミ・ホコリ等を全面清掃する。さびの発生が進行していたり、割れ・はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。ゴミ・汚れ・油分を除去し、乾燥した清浄な面にする。									
下塗り	ウレタイトプライマー 主剤16kg 硬化剤2kg	5～15% (専用シンナー) <sup>※1</sup>	ハケ・ローラー	1	0.15～0.18	100～120	4h以内	-	16h以上 7日以内	-
		15～30% (専用シンナー) <sup>※1</sup>	エアレス							
上塗り	トタンライトデラックス 16kg	15～30% (専用添加剤) <sup>※2</sup>	ハケ・ローラー <sup>※2</sup>	1	0.12～0.16	100～133	-	-	-	16h以上
		30～40% (専用添加剤)	エアレス							

※1 希釈率は主剤・硬化剤の混合比です。

※2 ローラー塗装の場合は、環境に応じ巻き込み泡が発生する場合がありますので、必ずローラー用調整剤をご使用ください。(添加量1%以下)  
添加量が1%以上になりますとハジキが発生する可能性があるため、ご注意ください。

※塗付量に「ウレタイトプライマーシンナー」・「トタンライトデラックス添加剤」は含まれていません。塗付量は条件によって異なります。

## 荷 姿

- ウレタイトプライマー                    . . .    18kgセット (主剤16kg 硬化剤2kg)
- . . .    4.5kgセット (主剤 4kg 硬化剤0.5kg)
- ウレタイトプライマーシンナー       . . .    16L・4L

## 常備色

グレー・白

## 注意事項

各種上塗りの注意事項は、別途ご参照ください。

### 【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目粗しを行って再度塗装してください。
3. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
4. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
5. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
6. 旧塗膜がタール系の場合、ブリードが生じますので使用しないでください。
7. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
8. シャッター等への塗装は、高温時にブロッキングすることがありますので避けてください。
9. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
10. 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
11. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

### 【塗料に関する注意】

1. 使用前には充分攪拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
3. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください(専用シンナーをご使用ください)。
4. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
5. 2液型塗料は、塗料毎の可使時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
6. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
7. 硬化剤はイソシアネートを含有しているため、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
8. 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものをご使用ください。
9. 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ラッカーシンナーまたはアクリルシンナーをご使用ください。
10. 2液型塗料は、主剤と硬化剤を別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早めに使い切ってください。
11. 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社  
 大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151  
 本社・東京・北関東・中部・広島・福岡・札幌・仙台  
 カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OND2110